

宮川学 外務省国際文化交流審議官

- ・杉原千畝氏は1919年に外務省に入省された尊敬すべき外交官。
- ・瑞陵高校の皆さんと同様、私にとっても杉原千畝様は大先輩。
- ・私はご列席の鈴木宗男当時外務政務次官に同行し、1991年10月、リトアニアの首都ビリュニスを訪れ、日本とリトアニアの外交関係を再開した。
- ・27年前のその時から、杉原先輩の名前は心に深く刻まれている。
- ・昨日、リトアニアからスクバルネリス首相が瑞陵高校を訪れ、今日夕方は安倍総理大臣との会談、夕食会に参加される。
- ・杉原千畝さんを通じた絆を礎に日本とリトアニアの関係のさらなる強化が期待される。
- ・1939年7月、杉原千畝さんは、リトアニアの在カウナス日本領事館に赴任した。当時リトアニアや周辺の国々では、ナチスドイツからユダヤの方々を迫害し、ホロコーストの危機にあったことは、イスラエル大使のお話のとおり。
- ・日本領事館に来たユダヤの方々に、杉原副領事は日本を通過するための査証ビザを発給し、多くの方々の尊い命を救われた。
- ・外務省もこの杉原千畝さんの行動を勇気ある人道的行為として顕彰した。
- ・リトアニアでは高校の歴史の教科書に杉原千畝さんの行いについて記述があり、リトアニアの方々には杉原さんを尊敬し、杉原さんを通して日本に対して好意を持っている。
- ・杉原さんへの感謝の念は、リトアニアにとどまらず、2年前まで勤務していた在ニューヨーク日本総領事館で、全米のユダヤ人のコミュニティが杉原千畝氏の行動に感謝の念を忘れない姿を何度も見た。正義の人としての杉原氏の偉業をたたえ、日ごろから千畝の母国、日本との関係を深めたいという声を数多く聞いた。命のビザを両親から大切に引き継いで保管しているユダヤ系のアメリカ人の感動的なお話も聞く機会があった。
- ・イスラエルにおいても同様で、2015年の1月、イスラエルを訪れた安倍総理大臣は、ヤドヴァシムホロコースト記念館を訪れ、「私たちの先人の一人に千畝杉原さんがいます。彼のビザで日本に向かったユダヤ難民を助けた人々が少なからずいました。彼らの勇気に私たちは倣いたいと思います」と発言された。

- ・歴史の記憶はこうして伝承されていくものと思う。
- ・AICHI PREFECTURE “SEMPO” SUGIHARA MEMORIAL において、若い皆さんが杉原先輩の
人道的な行いをよりよく知り、また素晴らしい先輩を誇りに持って、将来は同じ人
道精神によって世界の人々から尊敬される日本人としてご活躍されることをお祈り
する。